

2016年12月

# 日本プロバスケットリーグ「bリーグ」の発展へ向けての 考察と提言

情報学部 経営情報学科 手塚ゼミ  
B3P21117 原田 陸

## 【卒業論文概要】

現在、日本に根付いているプロスポーツリーグは、野球のプロ野球とサッカーのJリーグの二つがあげられる。しかし今年9月に新たなプロスポーツリーグ、バスケットボールのBリーグが開幕した。そこで今回の研究では、あまり日本では「見るスポーツ」として馴染みのないバスケットボールのプロリーグが成功するため、今後数年の間に日本にバスケットボールというスポーツが馴染んでいくためにはどういったことをするべきなのかを提案する。そのために、これまでのバスケットボールリーグの経緯を説明する。また、現在のBリーグの概要をこれまでのバスケットボールリーグや、Jリーグとの比較を交えながら解説しキャプテンやチェアマンの談話からリーグのコンセプト等も説明するそして、Bリーグに対する有識者の見解から、プロリーグが根付くための課題を洗い出し、ほんとうに必要なものが何であるのかを考える。それらの作業から得られた情報をSWOT分析にかけ、今ある弱みを角度を変えて見ることで強みになるのではないかと提案をする。そして、提案した強みと今ある外発的な機会を掛けあわせた結果、「収容人数が少ないからこそできるデジタルサービスの提案」「地域に根づいたチームになるための、部活や市民チームとの交流」「日本のバスケ漫画人気からわかる個性や特徴の大切さ」という3つの提案を主としてBリーグへの課題を提示していく。